

平成22年6月3日

各位

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ  
(コード番号:4573 大証ヘラクレス)

本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目1番7号

代表者 代表取締役社長 真島 行彦

問合せ先 ビジネスマネジメント部 中村 宏司

電話番号 03(3596)8011

## 網膜色素変性に対するUF-021 点眼液 (製品名 オキュセバ™)の第2 相臨床試験完了に関するお知らせ (速報)

このたび、網膜色素変性(注1)の治療薬として開発中のUF-021 点眼液(製品名 オキュセバ™)の第2 相臨床試験が完了しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

網膜色素変性は、現時点では適切な治療薬がなく治療法の確立されていない難病で、病気の進行に伴って不可逆的に視野が狭くなり末期には高度の視力低下あるいは失明にいたることもあります。今回、病気の進行が中期から晩期の患者の方を対象に、UF-021 点眼液(製品名 オキュセバ™)による眼底網膜中心部の視機能の改善の可能性について、全国6 施設において第2 相臨床試験(以下、本試験という)を実施しました。本試験は、プラセボ(薬剤を含まないもの)を対照としたGood Clinical Practice (GCP)に基づく多施設共同試験で、UF-021 点眼液(2用量)あるいはプラセボ点眼液を24 週間にわたり投与する無作為化二重盲検3 群比較試験として実施しました(登録患者数112 例)。

その結果、UF-021 点眼液(製品名 オキュセバ™)は、視野検査所見および自覚的所見において用量依存的に改善を示すことが判明しました。また、点眼時刺激感が見られましたが、重篤な副作用は認められませんでした。弊社では、現在詳細なデータを解析中で、今後学会等で発表していく予定です。

## UF-021 点眼液(製品名 オキュセバ™)について

イソプロピルウノプロストンを主成分として含む新処方点眼液で、神経保護薬としてアールテック・ウエノが開発中の新規医薬品です。

## アールテック・ウエノについて

株式会社アールテック・ウエノは1989年9月、医薬品の製造販売、研究開発を目的に設立された創薬バイオベンチャー企業です。医師でもある社長のもと「Physician-Oriented New Drug Innovation」(臨床医による新薬開発)をテーマとし、これまで有効な治療薬のない眼科・皮膚科疾患をターゲットに新薬の開発を行っております。

当社は、「医師の目線で医薬品販売・開発を行う分野特化型(眼科・皮膚科)のグローバルな医薬品会社」を目指しており、国が推奨および支援するアンメット・メディカル・ニーズ(未だ満たされていない医療ニーズ)対応や希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)、アンチエイジング領域(生活改善薬)の新薬開発を進めております。

以上